

龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例第19条及び同条例施行規則第11条の規定による「財政運営影響額」の公表資料

1. 事業概要

予算措置：龍ヶ崎市一般会計当初予算

【件名】龍ヶ崎中学校外壁等改修工事

金額：121,154千円

期間：令和5年度～令和6年度

2. 財政運営影響額

(1) 投資的経費

本事業における初期投資的費用は以下のとおりである。

年度	項目	金額(千円)	備考
令和5年度	実施設計	2,288	
令和6年度	外壁等改修工事	118,866	
合計		121,154	

(2) 経常的経費

当該施設における「維持管理にかかる経常コスト」は、10年目は10,449千円、20年目は11,542千円、30年目は12,749千円、30年間のトータルでは332,311千円と試算した。

「事務・事業運営にかかるコスト」は、10年目は360千円、20年目は400千円、30年目は440千円、30年間のトータルでは11,488千円と試算した。

「償還金等」としては、10年目は3,810千円、20年目は3,466千円、30年目は3,844千円、30年間トータルでは111,000千円と試算した。

「年別合計」の試算結果は、10年目は14,619千円、20年目は15,408千円、30年目は17,033千円、向こう30年間のトータルでは454,799千円と試算した。

(3) 更新費用

「大規模改造・更新にかかるコスト」については、21年目に外壁等改修を行うこととして試算した。

3. 事業の目的及び社会的便益等

令和4年4月に、旧愛宕中学校の校舎を活用し、旧愛宕中学校と旧城南中学校を統合した龍ヶ崎中学校が開校した。

統合にあたっては、取り急ぎ空調機の増設やトイレ改修等の質的改善を実施し、既存校舎を統合校舎として使用するために必要な整備を行ったが、校舎は老朽化が進んでおり、統合によりこれまでより多くの生徒が日々の学校生活を送る場であることから、生徒の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備するためには、老朽化対策を推進することが重要となっている。

本事業は、経年劣化により防水機能が低下した校舎屋上防水や外壁部のクラック等を改修し防水機能を保全するほか、破損による外壁材の落下等を防止することで、より長期間にわたる学校校舎機能及び避難所環境の維持を目的としていることから、その社会的便益性は高いと考える。